



4市連携による台湾東部沖地震災害救援募金を贈呈しました

<p>概要</p>	<p>座間市、大和市、海老名市、綾瀬市の4市は、5月30日、台北駐日経済文化代表処横浜分処に、台湾東部沖地震災害救援募金を贈呈しました。令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震災害で被災された方々を支援するため、4月18日から5月28日まで、「大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）広域連携による台湾東部沖地震災害救援募金」を実施しました。</p> <p>この間に皆さんから寄せられた浄財は、4市合計で846,657円です。集まった浄財を現地で役立てていただくため、台北駐日経済文化代表処横浜分処（横浜市中区日本大通60朝日生命横浜ビル2階）で贈呈式を行いました。</p>
<p>実施に至った背景</p>	<p>市では、コロナ禍での令和2年5月、台北駐日経済文化代表処からサージカルマスク5,000枚の寄贈をいただいています。</p>
<p>募金名称</p>	<p>大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）広域連携による台湾東部沖地震災害救援募金</p>
<p>贈呈式</p>	<p>贈呈式には佐藤弥斗座間市長、古谷田力大和市長、内野優海老名市長、内藤勝則綾瀬市副市長が出席し、冒頭で張淑玲^{ちようしゅくれい}処長は、「この度の地震に対して、義援金を募集していただき、心から感謝を申し上げます。4市の皆さんは高座郡として、台湾の少年工などご縁が非常に深い市です。今日いただいた義援金を被災地の復興に生かし、皆様の温かい気持ちをお伝えします。」と話しました。</p> <p>その後、佐藤弥斗座間市長は、「今回の募金に当たりましては、市民の皆さんにも、台湾と座間市との関係をお伝えすることができたと思っています。」と挨拶を述べ、4市を代表して古谷田力大和市長が張淑玲処長に募金目録を手渡しました。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>くらし安全部 危機管理課 防災計画係 TEL 046 (252) 7395 FAX 046 (252) 7773</p>

